

『紡ぐ』

発行 教育相談室「あした塾」 発行責任者 滝井元之
連絡先 927-0014 石川県鳳珠郡穴水町梶りの197
☎・📠 0768-56-1152 (自宅📠 0768-56-1151)

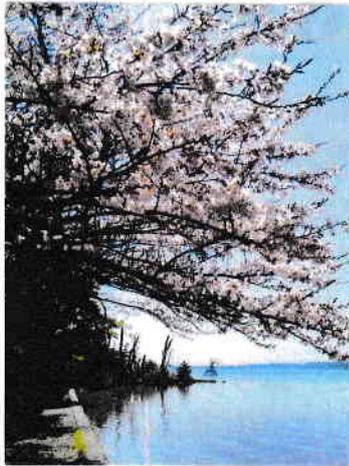
この生命力

昨年12月の大雪で大きな桜が折れ、1月1日の能登半島地震後もその子であった桜の木。この夜目、その折れた枝にも花が咲いているよ。

私たちは、この自然でもたのしみ^{おぼろ}未曽有の大災害に翻弄され、打ちひたされまわした。しかし、その自然の恵みに救われた思いにも残りず。傷つきながらも、生き、自分の本来の姿を全うする。その姿、その生命力には驚かされるよ。同じ自然の中にも生きる私たちも…。



穴水町梶地内



新崎 波待城ぐらと桜

穴水の桜の風景

穴水の桜の風景と言えは、能登鹿島駅の桜が有名。



穴水には、あちこち素晴らしい桜の風景が有り。新崎の、穴水の1つのシンボルであるボラ待城ぐらと桜の工ボレ一三ツも格別です。

桜、旧能登鉄道の鹿島



旧中居駅の桜の風景

と桜の風景もまた風情が有ります。ここには中居駅と鹿波駅を紹介はす。

スーパーマンがボラ待に

能登半島地震で大きな被害を受けた穴水町にスーパーマンが…。スーパーマンのコスチュームの筋骨隆々

の男性。頼りにするボラ待の方でした。

旧鹿波駅の桜の風景



ボラ待アゼニター (一人では遠くは行かない) 0801267410622 0801955718742

断議会議員の皆さん、仮設住宅や避難所などを訪れ、市民の皆さんの声を聴いてください。お願いします。

前を向いて①

能登半島地震から1ヶ月に経ちました。状況は日々変わっていき、あちこちで前を向いて進む風景が見られるようになってきています。宇水町の飲食店はとて大きな被害を受けました。



↑「香林」中橋政次さん



「もりそば」の守田和美さんが作る『復興1年生のラドセル』です。右に飾られています。



廃業せざるを得なかったところもありました。そんな中、大変な苦境を乗り越え、営業再開にこぎつけた川島町の2つの店を訪ねてきました。

中華料理店「香林」と蕎麦処「もりそば」さんです。どちらも通常営業とはなっていないようですが、前を向いて頑張っています。2つ1つで宇水町に元気を与えています。



「もりそば」守田さん↑「もりそば」さんです。どちらも通常営業とはなっていないようですが、前を向いて頑張っています。2つ1つで宇水町に元気を与えています。

街の御意見書

1月1日からのほとんど変わらなかつた街の風景も公費解体・自主解体の作業があちこちで進んできて、問題点を置いておけば、少くも前に進んでいるように思っています。そんな中、看過できないニュースが2つ。1つは財政省の「今後の復旧・復興に向けた『町』を念頭に」と『集約的存続ありき』を」という内容の提言です。「復旧・復興に金は出さない」「人がいなくなる町は小さくおぼろ」というのです。もう1つは、2050年までに川島内では9割が削減の可能性がある(人口戦略会議)という報告書が出されたことです。「この時期にこれ!」という思いです。私たちは今、ここで生きています。懸念をいじります。これらも住むべきと思っています。行政議会も、もっと怒らせたい。(T)

町の花 竹川の種類を蒔きました

「宇水竹川会」は昨年11月末に町の花である竹川川の種類を採取しています。本日は今年3月にその種を蒔く予定でしたが、能登半島地震のため、その作業ができませんでした。4月12日、道庁農会長他教員の会員は久し振りに訪れた越の原の群生地まで竹川川の種類を蒔きました。これらの種は3〜7年後に芽を出し、咲く花を咲かせたいと思っています。ささやかではありますが、宇水町復興の一助になればいいのかなと思います。



解体が進む大島町(今は更地になっています。)